

4

関東上陸地支局

昭和二十一年一月八日

史実調査参考資料 八告

摘要	終戦時ノモノヲ記ス	職名	所在地	所属部隊	支那事変以降ニ於テノ自己ノ略シ	所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	所属部隊ノ作戦經過ノ概要	終戦(又は全カノ戦斗終了)ノ状況	帰郷(又は)連絡先	其他ノ参考事項	備考	
摘要	終戦時ノモノヲ記ス	職名	所在地	所属部隊	支那事変以降ニ於テノ自己ノ略シ	所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	所属部隊ノ作戦經過ノ概要	終戦(又は全カノ戦斗終了)ノ状況	帰郷(又は)連絡先	其他ノ参考事項	備考	
		[Redacted]	[Redacted]	昭和三十八年十月十五日第三十聯隊ニ入隊 十二月十五日 甲種中尉ニ任ゼラル 十二月三十日 第六十聯隊ニ轉属 昭和十九年三月一日 京茂作戦ニ参加 八月二十日 沖繩上陸	昭和三十九年八月初旬 地支開封ニ於テ改編 陸立歩兵大隊 歩兵中隊五 機内偵中隊一(八位) 歩兵砲中隊一(機内砲三 機外砲二 機迫二)	昭和三十九年四月三日 沖繩具仲野郡上原ノ戦如ク 機内偵中隊ニ任ゼラル 遺棄 四月下旬 仲野ノ前田ニ機内偵中隊ヲ集約シ 機内偵中隊カチニ 戦死ス 四月七日 首里郡ニ在リテ 陣亡ス	五月二十六日 首里ヲ敵軍ノ島尻郡ニ渡ル 六月二十日 敵軍ノ解散ス	六月二十二日 部隊ノ其結末不明 三人一任、切込隊ノ以テ敵軍ニ捕虜ニ 切込隊ニ後ハ同隊地ニ在リテ終戦 トス 生存在首里ノ云々 機内偵中隊 ニテ 一任 機内偵中隊 (三月 某部 部隊)	[Redacted]		昭和三十九年八月 地支開封ニ於テ	昭和三十九年八月 地支開封ニ於テ 改編 陸立歩兵大隊 歩兵中隊五 機内偵中隊一(八位) 歩兵砲中隊一(機内砲三 機外砲二 機迫二)
						昭和三十九年四月三日 沖繩具仲野郡上原ノ戦如ク 機内偵中隊ニ任ゼラル 遺棄 四月下旬 仲野ノ前田ニ機内偵中隊ヲ集約シ 機内偵中隊カチニ 戦死ス 四月七日 首里郡ニ在リテ 陣亡ス	五月二十六日 首里ヲ敵軍ノ島尻郡ニ渡ル 六月二十日 敵軍ノ解散ス	六月二十二日 部隊ノ其結末不明 三人一任、切込隊ノ以テ敵軍ニ捕虜ニ 切込隊ニ後ハ同隊地ニ在リテ終戦 トス 生存在首里ノ云々 機内偵中隊 ニテ 一任 機内偵中隊 (三月 某部 部隊)			昭和三十九年八月 地支開封ニ於テ	
						昭和三十九年四月三日 沖繩具仲野郡上原ノ戦如ク 機内偵中隊ニ任ゼラル 遺棄 四月下旬 仲野ノ前田ニ機内偵中隊ヲ集約シ 機内偵中隊カチニ 戦死ス 四月七日 首里郡ニ在リテ 陣亡ス	五月二十六日 首里ヲ敵軍ノ島尻郡ニ渡ル 六月二十日 敵軍ノ解散ス	六月二十二日 部隊ノ其結末不明 三人一任、切込隊ノ以テ敵軍ニ捕虜ニ 切込隊ニ後ハ同隊地ニ在リテ終戦 トス 生存在首里ノ云々 機内偵中隊 ニテ 一任 機内偵中隊 (三月 某部 部隊)			昭和三十九年八月 地支開封ニ於テ	

昭和三十九年八月 地支開封ニ於テ 改編 陸立歩兵大隊 歩兵中隊五 機内偵中隊一(八位) 歩兵砲中隊一(機内砲三 機外砲二 機迫二)

昭和三十九年八月 地支開封ニ於テ

昭和三十九年八月 地支開封ニ於テ

史實調查參考資料報告

(昭和二十五年)

月 日

摘要

終戰時

毛多記

所在地 沖繩縣 職官 大塚附陸軍中尉

所屬部隊 石第三五九五部隊 氏名 [Redacted]

支那事變 昭和十七年十二月一日獨逸混成第四旅團砲兵隊附
 以降終戰 昭和十八年六月十五日第六十二師團司令部附
 自己之累 昭和十九年九月七日松之若兵隊第十大隊附
 昭和十九年四月 京漢作戰之參加
 歷 右作戰終了後沖繩本島轉進引續同職務服役

所屬部隊 編成年月日 昭和十八年六月二十日
 編成裝備 兵員 約一五〇名
 月日及編 本部
 制裝備 步兵五中队
 概要 機關銃一中隊(重機一〇)
 步兵砲一中隊(步兵砲二聯隊砲二連附砲二輕砲二)

所屬部隊 昭和二十年四月三日 四月五日 宣野灣附近之戰闘
 沖繩縣 四月二十四日 五月七日 前田仲剛附近之戰闘
 概要 五月十日 五月二十日 首里附近之戰闘
 六月一日 六月二十日 知念大城附近之戰闘
 米須摩文仁附近之戰闘

終戰時 殘存部隊ヲ以テ敵集結地ニ對シ夜間斬込ヲ
 主力ヲ殺シ 實施ス
 終了後 終戰ノ報ヨリ米軍憲兵隊ニ出頭ス
 状況 昭和二十年十月三十日米船ニ乘船昭和二十一年一月五日
 沖繩出港一月七日浦賀ニ上陸

歸還輸送
 小島是保記

其他身 十
 考事項

26

史實調查參考資料報告

(昭和二十一年)

月 日

摘要

所在地

沖繩縣

職官

大隊附陸軍中尉

終戰時

所屬部隊

若第三五九五部隊

氏名

[Redacted Name]

モリノ記

支那事變

昭和十七年十二月一日編立流寇軍四旅團砲兵隊附

職變更

以降終局

昭和十八年六月十五日第六十二師團司令部附

及進北參

自己之畧

昭和十九年九月二十七日撤去步兵第十四大隊附

加戰斗者

盤

昭和十九年四月京漢作戰之參加
若作戰終了後沖繩本島轉進引續同職務服務

所屬部隊

編成年月日 昭和十八年六月二十八日

最後所屬

編成年

編成裝備 兵員 約一五〇名

部隊之記

月日及編

本部 步兵五中隊

尚其以陣

制裝備

機關銃一中隊(重機一) 步兵砲一中隊(步兵砲二連射砲二聯砲二)

概要

昭和二十年四月十四日三月廿五日 宜野灣附近之戰闘

所屬部隊

四月二十四日 五月七日

前田中尉附近之戰闘

概要

五月廿一日 五月廿三日 六月一日 六月二十日

首里附近之戰闘 知念火城附近之戰闘 米原摩文仁附近之戰闘

終戰時

一 殘存部隊ヲ以テ敵集結地ニ對シ夜間斬込ヲ實施ス

歸還輸送

主力戰斗

一 終戰ノ報ヲ以テ米軍憲兵隊ニ出頭ス

終了後

一 昭和二十年十月三十日米船ニ乘船昭和二十一年一月十日浦賀ニ上陸

概況

一 昭和二十年十月三十日米船ニ乘船昭和二十一年一月十日浦賀ニ上陸

歸還輸送

一 昭和二十年十月三十日米船ニ乘船昭和二十一年一月十日浦賀ニ上陸

其他事項

一 昭和二十年十月三十日米船ニ乘船昭和二十一年一月十日浦賀ニ上陸

考事項

一 昭和二十年十月三十日米船ニ乘船昭和二十一年一月十日浦賀ニ上陸

26

史實調査參考資料報告

摘要

備考	項 其ノ他ノ参考事	先 歸郷(又ハ連絡)	終戦(又ハ主力ノ戦闘終了)後ノ概況	所屬部隊作戦經過ノ概要	所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴	所屬(部隊固有名)	職官	終戦時ノモノヲ記ス	
							全右所在地	氏名	記ス	
將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス		[Redacted]	昭和三十七年五月十九日、本軍二收容カレ、昭和三十八年五月十九日、米野戦軍道ニ入院シ、昭和三十九年五月十日、仲野第一捕虜收容所ニ移シ、昭和三十九年五月二十三日、仲野出陣カケルコトナリ、昭和三十九年五月二十七日、仲野留置所ニ移ス	昭和三十七年五月十九日、本軍二收容カレ、昭和三十八年五月十九日、米野戦軍道ニ入院シ、昭和三十九年五月十日、仲野第一捕虜收容所ニ移シ、昭和三十九年五月二十三日、仲野出陣カケルコトナリ、昭和三十九年五月二十七日、仲野留置所ニ移ス	昭和三十七年五月十九日、本軍二收容カレ、昭和三十八年五月十九日、米野戦軍道ニ入院シ、昭和三十九年五月十日、仲野第一捕虜收容所ニ移シ、昭和三十九年五月二十三日、仲野出陣カケルコトナリ、昭和三十九年五月二十七日、仲野留置所ニ移ス	昭和三十七年五月十九日、本軍二收容カレ、昭和三十八年五月十九日、米野戦軍道ニ入院シ、昭和三十九年五月十日、仲野第一捕虜收容所ニ移シ、昭和三十九年五月二十三日、仲野出陣カケルコトナリ、昭和三十九年五月二十七日、仲野留置所ニ移ス	昭和三十七年五月十九日、本軍二收容カレ、昭和三十八年五月十九日、米野戦軍道ニ入院シ、昭和三十九年五月十日、仲野第一捕虜收容所ニ移シ、昭和三十九年五月二十三日、仲野出陣カケルコトナリ、昭和三十九年五月二十七日、仲野留置所ニ移ス	独立歩兵第十四大隊	陸軍少尉	終戦時ノモノヲ記ス
								沖繩本島	[Redacted]	職ノ變更及主ナル參加戦闘名ヲ記ス

13

12